

自然災害とうまくお付き合いをするために・・・

～経験してきたこと、見聞したことをわすれない～

自然災害は必ずやってくる、そのために様々な対策を、それぞれに対応しているつもりですが、すべて完璧でいつでも来いという状況にはありません。自然災害はいつ、どこに、どのような形で現れるのか神出鬼没で予知ができず、でたとこ勝負だからです。

つまり、災害発生時に、状況判断して、適切な行動をとることが求められているというものです。そのためには、新しい科学知は当然なことながら、これまでの経験知や体験をもとに、もう一度確認したりすることが必要ではないでしょうか。なにも起きないと、もういいやとなりがちですが、そこをどう乗り越えて継続していくこそが極めて重要なことです。自然災害がますます複雑になってきていて、その誘因の一つである気象現象もあるレベルを超えたものになっているような印象を受けます。

毎年、どこかで大きな自然災害を経験しながら、どうすれば被害を最小に、犠牲者をゼロにできるのだろうかと思いつけています。そういう中で特に気になっていることをメモしてみました。

1. 異変にあっても大したことないと思いたくなるのは・・・
2. ハザードマップは様々な災害情報の宝庫、先のことまで分かる？
3. いま暮らしているところは、本当に災害に強いところですか？
4. 雨はばかにしてはいけない、とんでもない悪魔化するものもある
5. ペットと一緒に避難するためには・・・
6. 登下校時で災害が起きたら、子供がどう動くか？
7. ローリングストック法を実践していますが・・・・・・
8. 電気、ガス、水道が目の前から消えたとして・・・・・・
9. 知らない方が良かったとはならないのが災害リスク
10. 土砂災害と水、水のあり方がわかると危険度がわかる？
11. 森林の持つ二重性を知っておきたい